



5月の園だより



2024.5.1 発行
社会福祉法人 榎の会
児童発達支援センター
きらめきの里

新年度がスタートして1か月経ちました。継続して通ってきたお子さん達は、新しい環境にも慣れて、安心して過ごせるようになってきています。就学前の子ども達にとって「分かってもらえる感&安心」を作ることは、子どもが人として成長するための土台となり、宝物になります。親がその方法を知ることは子育てのスキルアップになります。

『好い事作り療法』は、子どもにとっても親にとっても“分かってもらえてうれしい！困り事が減って良かった！上手いくようになって良かった！”と思えるようになる、心理療法をベースにした子育ての方法です。

親子の幸せ作りに役立つ子育て法を理解・実践してそれを実感していただける事を願って応援していきます！！



★★★★今月のエピソード★★★★

★「急がば回れ」～まずは、きみのやり方でいいよ～からの成功例！

スノースーツやスノーブーツ、手袋や帽子を身に付けたがらず、真冬も短いジャンパーとスニーカーで過ごしていたAくん。雪でズボンが濡れるのが嫌なので、そりには乗ろうとしません。

2月のある日、夏の間楽しく散歩していたAくんの大好きなゲートを先行にして雪遊びへ！

身支度の時にスノースーツを着るように誘いましたがNOだったので、まずはAくんのやり方でOKとして、そのままいつものジャンパーとスニーカーで外へ。



ズボンが濡れないようソリに毛布を敷いておくと、すんなり乗ってくれました！

ゲートに着くと元気に雪の中を駆け回り、Aくんの靴もズボンも濡れて冷たくなってきたというタイミングで「寒いから着替えよう！」と着替えに誘い、「濡れないようにこっちのジャンパーと靴にしよう！」と提案すると、Aくんはスノースーツとスノーブーツを身に付けることに応じてくれました。そして、なんと手袋は自ら手を出して装着！濡れずに寒くなく遊べると分かり、嬉しそうな笑顔で雪遊びを満喫しました！

その次の雪遊びの活動時は、事前にゲートの写真と前回スノースーツとスノーブーツ・手袋・靴を身に付けて遊んだAくんの写真を提示して「ゲートに行くからこれを着ようね！楽しみだね～！」と繰り返しアナウンスすることで、身支度からすんなりスノースーツを着ることが出来、手袋・帽子もかぶってやる気満々！ゲートでの雪遊びを楽しむことが出来たAくんでした！♥先ずは「あなたのやり方でいいよ」と認めて、Aくんに分ってもらえた感・安心を作り、それから「こうしたらもっといいよ」と提案・アナウンスしていく関わり方。時間はかかりますが、大人も子どもも一番幸せに過ごせる方法です。

黒田 奈保



★「憧れのお兄ちゃん存在を感じる」までに成長したBくん＆「憧れのお兄ちゃん」になったCくん

トイレのフェンスの前でママと座っていたBくん。ママが「Cくんを待っているんです。憧れのお兄ちゃんなんです」と嬉しそうに教えて下さいました。Bくんは、待ちきれずピアノの方に行ったりしながら「Cくん終わったよ～出てきたよ」と言う声かけに走って戻ってきました。お互いに視線を合わせたりはしなくても、「友だち」を意識出来るまでに成長！二人ともホールを走った後ママの声掛けに応じて、すいかクラスに戻って行きました。

「好い事作り」のあの手この手で頑張っ、親力アップし続けているBくんとCくんのママの愛と努力と知恵の成果です！これからの2人の成長を楽しみにしています！！

田野 準子